

# 消化器外科

食道・胃・大腸・肝臓・膵臓・胆道のがんを診療します



3D 内視鏡システムを導入！！  
立体視で腹腔鏡手術がよりスムーズ、より安全に！

当科の診療の中心はがんに対する胃切除、腸切除、肝切除、胆膵切除などの手術療法です。手術前後の抗がん剤治療なども担当します。



関連診療科と密に連携し、消化器がんの標準治療から先端的治療まで、安全・確実に遂行します。



## 診療方針

各疾患ガイドラインに準拠しますが、個々の患者さんにとって最善の治療を提供し、高い満足度を得て頂けるよう努力しています。

1. 誠意をもって誠実に診療にあたる
2. 丁寧で十分な説明を心がけ、患者さんの理解と納得を得る
3. 厳重なりスク管理と医療安全の確保に努める
4. 先端医療など新しい情報や技術を常に取り入れ、外科チームとしての技量向上に努める
5. 消化器がんに関する臨床研究の推進、情報発信を行う

## 当科の特徴

- 食道がん** 胸腔鏡下、腹臥位で行い、術後合併症を低減しています。放射線化学療法も当院で行います。
- 胃がん** 約半数が腹腔鏡手術となっています。術前化学療法も取り入れています。
- 大腸がん** 結腸、直腸ともに腹腔鏡手術が標準となっています。下部直腸がんでは肛門温存手術(ISR)も行っています。
- 肝がん** 肝機能を吟味し、ベストの治療選択を心がけます。メジャ一肝切除、腹腔鏡手術も適応を厳格に判断し行っています。
- 胆膵がん** 膵がん門脈合併切除などの高難度手術を行っています。腹腔鏡手術も導入しています。



肝胆膵チームによる肝切除の手術風景

わたしたちのモットーは…

「チームワークで安心手術、  
一に慎重、二に慎重、三、四がなくて五に慎重」

